

Global Gateway

国際教養のための英語
はじめてのTOEFL

Tomoko Onabe
Miwa Akao
Mitsuko Yukishige
Sari Nishigaki
Noriko Matsuda
Bradley Quinn

NAN'UN-DO

Global Gateway

Copyright©2018
by

Tomoko Onabe
Miwa Akao
Mitsuko Yukishige
Sari Nishigaki
Noriko Matsuda
Bradley Quinn

All Rights Reserved.

No part of this book may be reproduced in any form without written permission
from the authors and Nan'un-do Co., Ltd.



はしがき



グローバル社会に対応する英語力を身につける、英語で思考する力を養う、このような目的のために TOEFL を取り入れる授業が増えてきています。ですが、実際に TOEFL で扱われる多量のアカデミックな英語を目の当たりにすると、いったい何から手を付ければよいのか、戸惑う学習者も多いことでしょう。

Global Gateway は、TOEFL 入門書として見過ごされがちリスニングからノートテイキングへの橋渡しに注目しながら、国際教養としての総合的な英語スキルの習得を促す教材として開発されました。英語を繰り返し聴き、読み、書くというステップを踏んだ学習により、思考の過程を整理しながら英語思考力をアップさせ、インプットからアウトプットできるよう工夫されています。

本書の最大の特長であるフローチャートは情報の関連性をチャートで可視化することで、グローバルな情報社会への英語での対応力を磨きます。もう一つの特長はディクトグロスという学習方法の導入です。リスニング中にポイントとなる語をメモするノートテイキングの後、そのメモに基づいて元の英文を復元していく手法です。作成した英文をペアやグループで話し合いながら訂正するアクティブラーニングを通してライティング能力を養います。

本書の構成としては、リスニングからライティングへのスムーズな移行のためリスニングを前半<講義 A>・後半<講義 B>に分けています。前半部分は **Vocabulary・Listening** に重点を置き、後半部分に **Note Taking・Dictogloss** を導入することで、**Writing** への段階的な橋渡しを図っています。

Global Gateway は TOEFL 対応ではありますが、あくまでリスニング、ノートテイキング、ライティング能力、および国際教養を身につけるための教材です。本書がグローバル社会で活躍する皆さんの実践力養成の一助となればこれに越した喜びはありません。なお、本書の企画に当初から理解を示しつつ企画を積極的にすすめ、編集・出版にご尽力くださった南雲堂の丸小雅臣氏に、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

編著者一同

TOEFL is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS).
This publication is not endorsed or approved by ETS.

Contents

-  **Unit 1 Party! [Introduction]**
パーティーしよう！ [はじめに] 6
-  **Unit 2 College Admissions [College Life]**
始めよう！大学生活 [生活] 12
-  **Unit 3 Feedback on a Presentation [Consultation]**
ドキドキ！プレゼンテーション [相談] 18
-  **Unit 4 No One's There! [Registration]**
教室はどこ？ [登録] 24
-  **Unit 5 History of Halloween [History]**
ハロウィーンって何？ [歴史] 30
-  **Unit 6 The Political System in the US and the UK [Politics]**
比べてみよう！英米政治制度 [政治] 36
-  **Unit 7 The Earlier the Better? [Linguistics]**
早いほどいいの？言語習得 [言語] 42
-  **Unit 8 Daily Life [Review 1]**
日常生活 [復習 1] 48
-  **Unit 9 Impressionism in Fine Arts [Fine Arts]**
ようこそ！印象派の世界へ [芸術] 52
-  **Unit 10 The Origin of Species [Biology]**
ダーウィンがやってきた！ [生物] 58
-  **Unit 11 Alternative Agriculture [Agriculture]**
探ってみよう！代替農業の長所&短所 [農学] 64
-  **Unit 12 The Popularity of Victorian Novels [Literature]**
人気の秘密は？ヴィクトリア朝小説 [文学] ... 70
-  **Unit 13 Free Will Problem [Philosophy]**
なぜ重要？自由意志問題 [哲学] 76
-  **Unit 14 The Discovery of Jupiter's Moons [Astronomy]**
発見！ガリレオの木星観察 [天文] 82
-  **Unit 15 Academic World [Review 2]**
アカデミックな世界へ [復習 2] 88



Party! (Introduction)

パーティーしよう!

Unit 1

[はじめに]

Step 1

準備段階です。予想しながらアクティブに聴きましょう。

- ✓ 例えば、最初に“Listen to a group of students discussing a party.”と音声の流れれば、「場所 (place)」、「音楽 (music)」、「食べ物 (food)」などの言葉が出てくるのが予想できます。
聴きながらノート (メモ) を効果的に取るコツは、すべてを書こうとしないことです。また、ノートをきれいに取る必要もありません。あとで書き足しができるように、十分余白をとりましょう。
まず、聴こえた単語を何でもいいので、書き取ることから始めましょう。

Warm up



<First Listening> 会話の一部を聴いて、聴こえた単語を何でもいいのでメモしましょう。

- ✓ Warm up では完全な文章を書く必要はなく、聴き取れた語を書きとめれば OK です。
- ✓ 次の Vocabulary で単語は聴き取れたけれど、意味のわからない語彙の確認をしましょう。

Vocabulary

A. 次の単語の意味を表す語を、選択肢から選び記号で答えましょう。

1. fusion () 2. charge () 3. light snacks ()

- a. 軽食 b. 朝食 c. 料金 d. 合同演奏

B. 次の単語と右側の定義を線でつなぎましょう。

1. invite ・ (a) an event in which both the performers and the audience are present
2. rent ・ (b) to allow the use of a place in exchange for money
3. live ・ (c) to request the participation of

✓ Listening は前半を聴く 2 回目となります。今度は内容にかかわるキーワードを書き取りましょう。

Listening



<Second Listening> 会話を聴きながら、() 内にキーワードを記入しましょう。次にペアになって内容を確認しましょう。

Bill: Hi, Anne!
Ann: Hi, Bill! Are you busy tomorrow night?
Bill: No, (1w) up?
5 Ann: There's a (2p) a friend invited me to. You want to come?
Bill: Maybe. Where is it?
Ann: She's rented the Lady Day (3b) for the night, on Green Street.
Bill: Oh, that's a nice place. Will there be live (4m) ?
Ann: Yes, it's a jazz (5f) group I think.
Bill: Count me in. I love to dance.

Reading Comprehension

上のリスニングスクリプトを読み、次の間に答えましょう。

1. What kind of music will be played at the party?
a. karaoke
b. classical
c. folk songs
d. jazz

2. The phrase "Count me in" in line 9 is closest in meaning to
- make fun of me
 - let me join
 - talk about me
 - advise me

✓ ここまで、導入として前半のリスニングと内容理解の確認を行いました。

Step 2

次に後半の会話を聴いて、本格的なノートテイキングを始めましょう。

- ✓ 前半の理解にもとづき、さらに予想をふくらませて、アクティブなリスニングを継続しましょう。
- ✓ *Focus on Listening* では音声に着目しています。言葉がつながって聴こえ、わかりにくい部分をよく聴き取り、ペアで確認しましょう。

<Focus on Listening>



Ann に対して Bill がさらに質問をしています。会話を聴き、() 内に適切な語句を記入しましょう。次にペアになって内容を確認しましょう。

Bill: Oh, (1i) (2t) a charge?



✓ *Note Taking* では注意を内容へと向けて、メモを取りましょう。

Note Taking



Ann と Bill の会話を聴きながら、なるべくたくさんの単語をメモしましょう。

✓ *Pre-dictogloss* では、次のサマリーライティングに役立つ表現を導入します。

Pre-dictogloss

- there will be ... ~がある
Will there be some food there?
- pick up ... ~ (人) を車などで迎えに行く
I'll pick you up at around 8.

- 適切な文になるよう、次の単語を並べ替えましょう。
There would [no / for / problem / be / me].
- 日本語を参考に、英訳して口で言ってみましょう。次にペアで確認しましょう。
私は迎えに行く / 私の子どもたちを



✓ *Let's Dictogloss!* では *Note Taking* で取ったメモと *Pre-dictogloss* で学習した表現を活用して、ノートテイキングをしましょう。

Let's Dictogloss!



1. *Note Taking* で書き取ったメモをもとに、概要を復元してみましょう。正確に同じ表現にする必要はありませんが、文法や話の論理性に注意してサマリーを作成しましょう。

2. 作成したサマリーを互いに見せ合い、ペアまたはグループで話し合いながら訂正しましょう。



Step 3

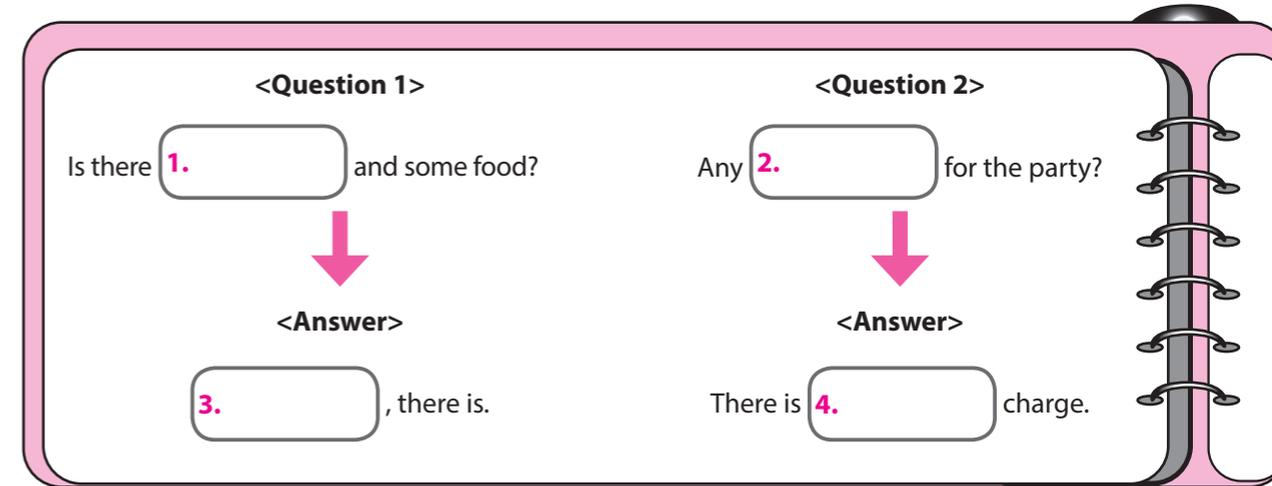
さらにフローチャートで、内容をビジュアルにメモし、全体をまとめましょう。

✓ 最後は文章にまとめることにより、内容理解をさらに深める学習をします。

Pre-Writing



もう一度全体を聴きながら、() を埋めましょう。会話中、Bill は Ann に主に2つ質問をしています。下のフローチャートを使ってまとめてみましょう。



✓ *Let's Write!* は、これまで学習したすべてを用いて、最後のまとめをします。

Let's Write!

では次に、フローチャートでまとめたアイデアをもとに、英文を書きましょう。

Ann asked Bill to ...
Bill had several questions before he accepted the invitation.
First, Bill confirmed that **there would be** ...
Second, he also confirmed that **there would be** ...
Bill accepted the invitation, and Ann said she would **pick up** Bill at ...